

【調査設計】

調査方法：インターネットによるアンケート調査

調査地域：全国

調査対象：20～69 歳の男女について、下記割付でサンプル回収を行った。

		20代	30代	40代	50代	60代	小計
男性	既婚	100	100	100	100	100	500
	未婚	100	100	100	100	100	500
女性	既婚	100	100	100	100	100	500
	未婚	100	100	100	100	100	500
小計		400	400	400	400	400	2000

有効回答者数：2000 名 (20 代～60 代の男女、年代・性別ごとに各 100 名)

調査時期：2011 年 11 月 21 日～22 日

1. 環境保護活動(エコ活動)のイメージを漢字一文字で表すと、第1位は「節」。「節約」意識の高まりか。

- ・環境保護活動(エコ活動)のイメージ漢字1文字を聞くと、昨年の東日本大震災による「節電」あるいは「節約」のイメージが強いためか、1位は「節」という結果に。2位は「清」、3位は「緑」、4位「省」、5位「忍」という順位。

グラフ1)「環境保護活動(エコ活動)」のイメージを漢字1文字で表すとしたら何になるか。

順位	漢字	回答人数
1位	節	208名
2位	清	152名
3位	緑	90名
4位	省	78名
5位	忍	72名
6位	美	72名
7位	守	72名
8位	生	60名
9位	心	58名
10位	愛	40名

2. “地球のため”よりも“自分のため”? 環境保護活動(エコ活動)を意識したきっかけ第1位は「もったいない」。

- ・「環境保護活動(エコ活動)」を意識する(した)きっかけを聞くと、やはり昨年の震災の影響による節約志向の高まりからか、「とてもあてはまる」、「ややあてはまる」を合わせた比率は、「もったいないと思うから」(76.9%)、「節約できるから」(68.2%)が上位と回答。
- ・以下は、「地球を守りたいから」(64.1%)、「次の世代のためになるから」(62.8%)、「社会のためになるから」(61.2%)等、利己主義というよりは未来や社会全体を考えて環境意識を持つという回答が続いた。

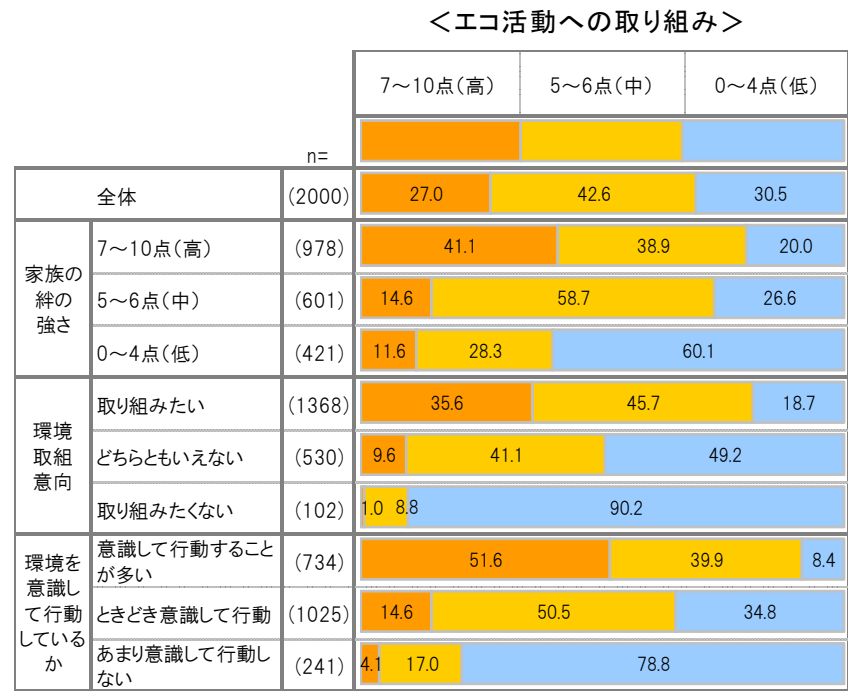
グラフ2)「環境保護活動(エコ活動)」を意識する(した)きっかけ

	とてもあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
もったいないと思うから	24.7	52.2	14.8	3.8	4.6
節約できるから	18.8	49.4	18.8	6.6	6.5
地球環境を守りたいから	21.1	43.0	25.1	4.8	6.0
次の世代のためになるから	20.4	42.4	25.3	5.9	6.1
社会のためになるから	15.0	46.2	26.7	6.1	6.2
生態系を守りたいから	18.1	38.6	30.7	6.4	6.3
習慣になっているから	9.4	45.0	27.1	10.1	8.5
自然が好きだから	17.2	36.1	32.9	7.4	6.6
将来の自分のためになるから	14.3	38.2	32.9	7.4	7.3
今の自分のためになるから	11.6	35.3	37.0	8.8	7.5
効率がよいから	9.4	35.9	35.1	10.3	9.5
家族のためになるから	11.6	32.1	37.4	9.4	9.7
興味があるから	6.0	37.4	36.4	10.8	9.6
ルールで決まっているから	5.5	28.7	28.7	22.8	14.5
家族がやっているから	2.5	17.6	35.5	25.6	18.9
楽しいから	2.2	14.3	46.0	23.1	14.5
友人・知人がやっているから	0.8	10.7	37.8	29.0	21.8
趣味だから	1.5	7.5	42.5	25.8	22.8
かっこいいと思うから	0.9	6.5	35.2	29.2	28.3
流行を取り入れたいから	0.4	2.4	29.7	29.9	37.7
注目されたいから	0.4	1.7	29.4	29.9	38.7
なんとなく	3.7	19.9	42.2	12.0	22.4

3. 環境保護活動(エコ活動)は“家族ぐるみ”で。環境への取り組み意向が高いほど、家族の“絆”は強い。

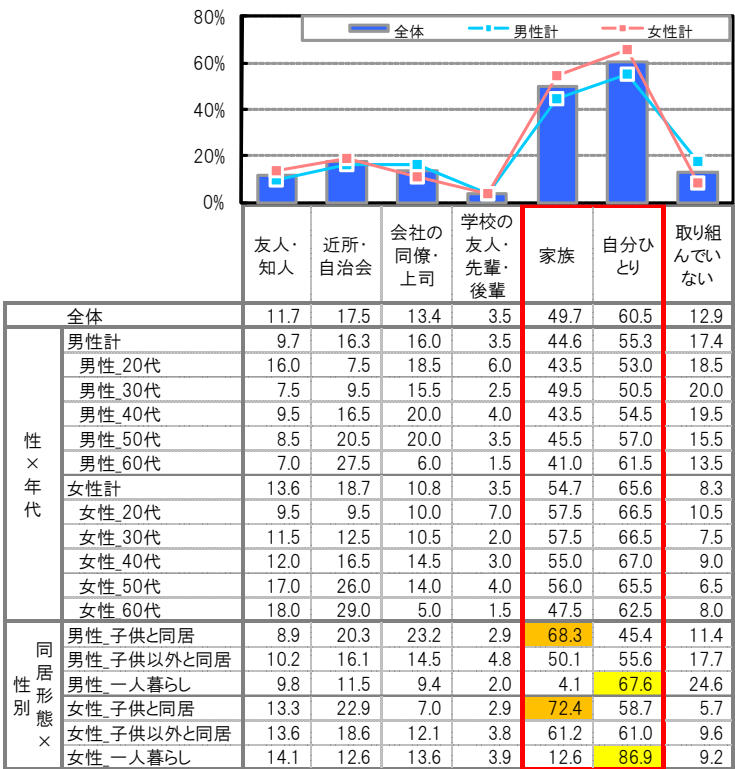
- ・「エコ活動に取り組みたい」人、あるいは「環境を意識して行動している」人ほど、家族の絆が強くなる傾向にあることがわかった。
- ・エコ活動で誰と取り組むことが多いかを聞くと、子どもと同居している人は、男女ともに約7割が「家族」と回答し、そうでない人と比べて最も高い数値となった。一人暮らしは男女ともに「自分ひとり」がトップ。ただし、男性は 67.6%、女性は 86.9%と、同じ一人暮らしでも女性の方が高い数値となった。

グラフ3) 家族の絆の強さ×環境取り組み意向、環境意識



※エコ活動への取り組みについて自己評価(0～10点)したものです。
※家族の絆の強さについて自己評価(0～10点)したものです。

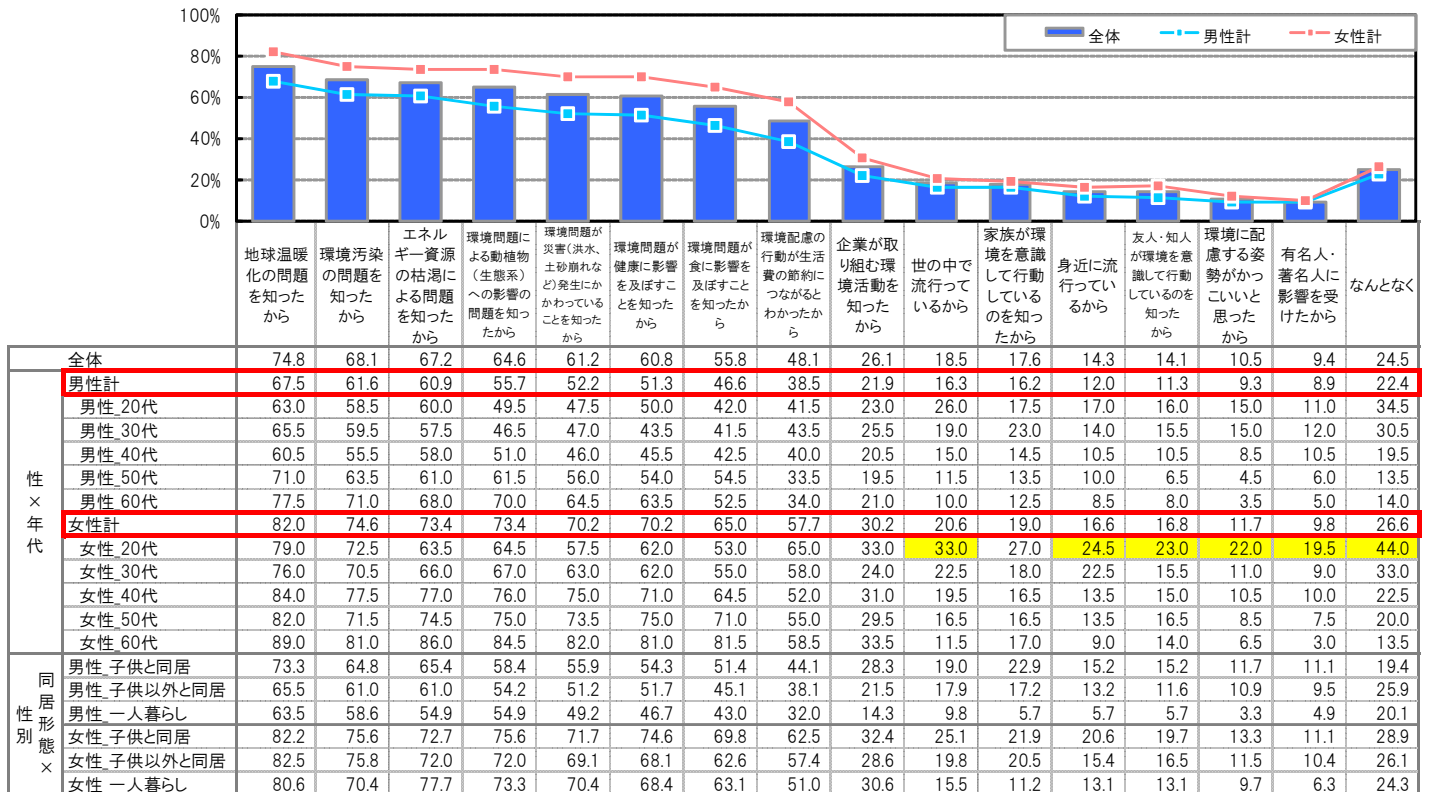
グラフ4)「環境保護活動(エコ活動)」について、誰と取り組むことが多いか(複数回答)



4. 環境保護活動(エコ活動)への意識は、女性の方が男性より高い。

- ・「地球温暖化の問題を知ったから」、「環境汚染の問題を知ったから」、「エネルギー資源の枯渇による問題を知ったから」がそれぞれ約 7 割と数値の高い結果になった。女性の方が男性より意識が高い傾向に。
- ・特に 20 代女性は、約 2～3 割が「世の中で流行っているから」、「有名人・著名人に影響を受けたから」と回答しており、世代別でみると最も高い数値となっている。他の世代に比べて、ファッション性からエコ活動に取り組む人も多いと考えられる。また、約 4 割が「なんとなく」と回答しており、こちらも世代別で比較すると最も多い結果となった。

グラフ5)「環境保護活動(エコ活動)」を意識する(した)きっかけとして、以下の項目にどの程度あてはまるか



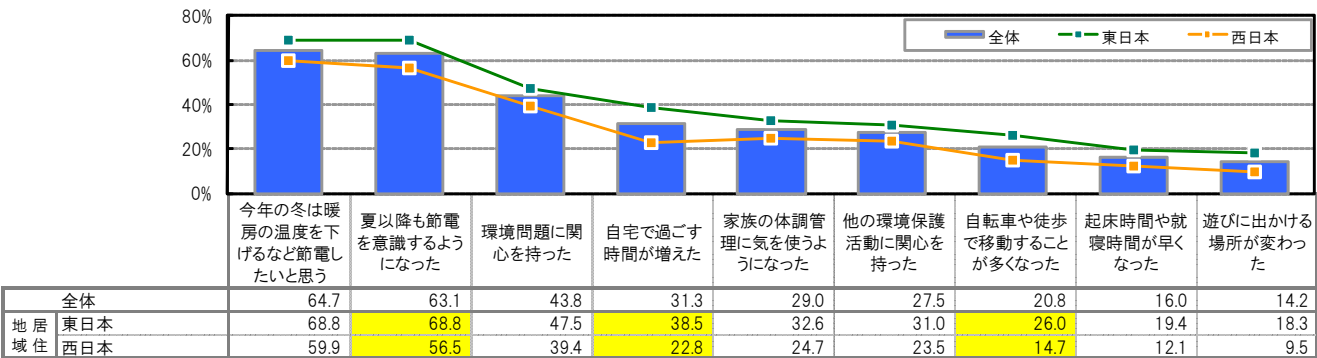
5. 震災後、約 6 割が節電意識高まる。特に東日本居住者はその傾向が高い。

- ・東日本大震災による節電によって、意識や行動にどんな影響があったか聞くと、「とてもあてはまる」、「ややあてはまる」を合わせると、約 6 割が「今年の冬は暖房の温度を下げるなど節電したいと思う」、「夏以降も節電を意識するようになった」と回答。約 4 割は「環境問題に関心を持った」と回答。節電意識が高まり、それを行動に移したことで、新たに環境問題への関心を持つ人が増えたと考えられる。
- ・東日本居住者は、西日本居住者と比べて全項目のスコアが高い傾向にあり、節電意識が高い。特に「夏以降も節電を意識するようになった」、「自宅で過ごす時間が増えた」、「自転車や徒歩で移動することが多くなった」が高い。

グラフ6) 東日本大震災による節電によって、意識や行動に影響があったか。それぞれどの程度あてはまるか。

	とてもあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
今年の冬は暖房の温度を下げるなど節電したいと思う	20.8	44.0	22.9	6.4	6.1
夏以降も節電を意識するようになった	18.7	44.5	23.4	6.9	6.6
環境問題に関心を持った	8.4	35.4	36.1	11.2	9.0
自宅で過ごす時間が増えた	8.4	22.9	38.5	20.1	10.2
家族の体調管理に気を使うようになった	6.5	22.5	41.6	16.8	12.7
他の環境保護活動に関心を持った	4.9	22.7	47.1	14.9	10.6
自転車や徒歩で移動することが多くなった	5.4	15.4	40.6	22.3	16.4
起床時間や就寝時間が早くなった	3.9	12.1	40.9	27.2	16.0
遊びに出かける場所が変わった	3.3	11.0	44.4	24.8	16.6

グラフ7) 東日本大震災による節電によって、意識や行動にどんな影響があったか。

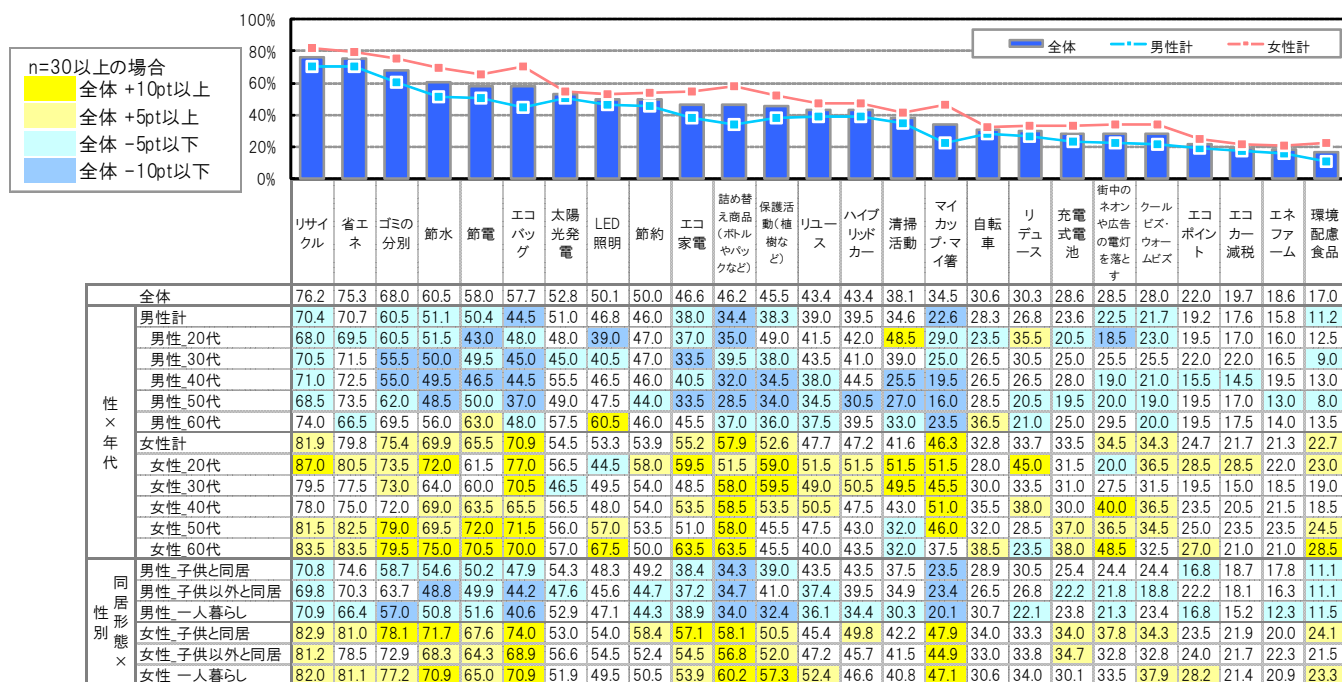


【おわりに】

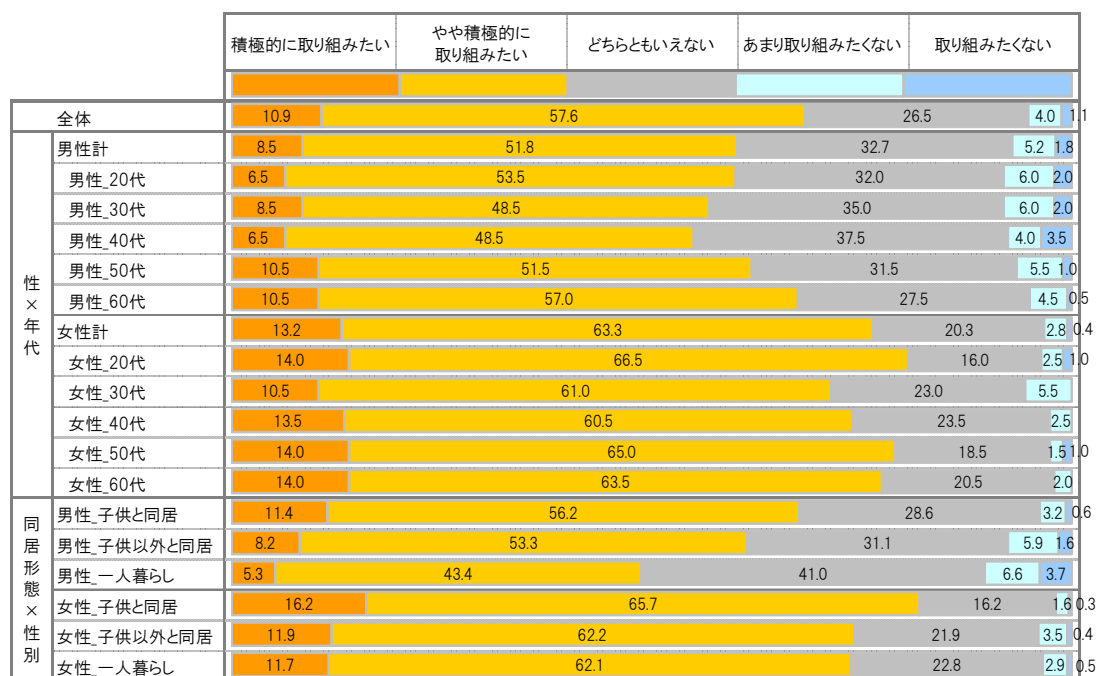
今回の「環境保護活動(エコ活動)の意識と行動に関する調査」では、環境保護活動をイメージする漢字の1位が「節」となったように、昨年の東日本大震災による“節電”“節約”を象徴するような結果が見られました。“節電”“節約”志向の生活を送ることにより、今まで環境保護活動に関心がなかった人々も意識を向けるようになりました。また、家族ぐるみで環境保護活動に取り組む人ほど、家族の絆が強くなる傾向にあることがわかりました。

【ご参考データ】

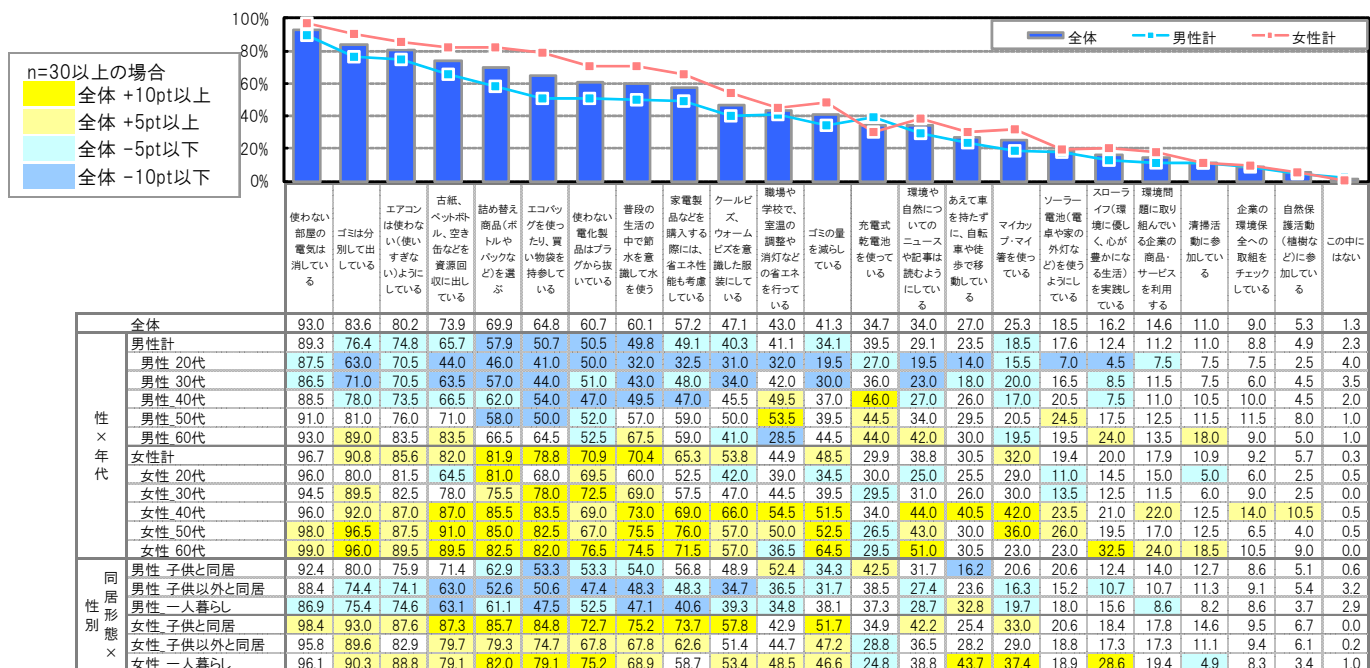
●環境保護活動(エコ活動)と聞いて思い浮かべること(複数回答)



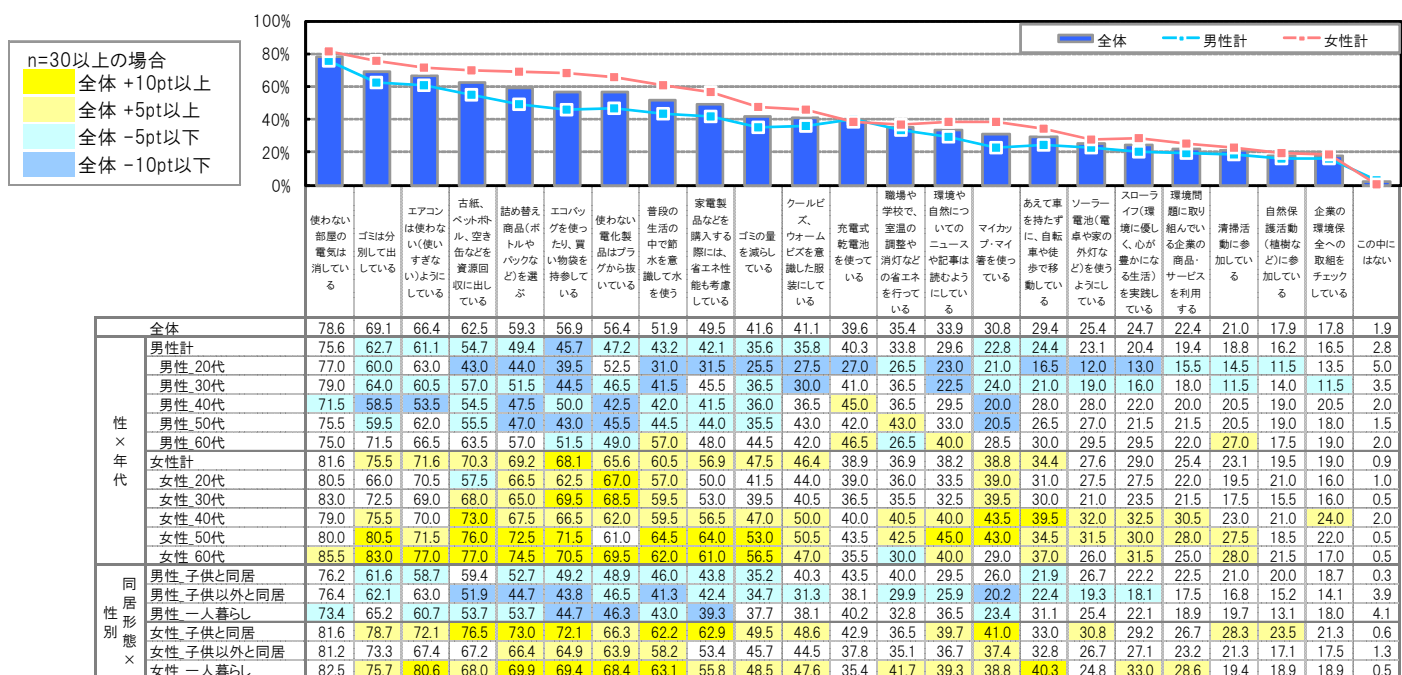
●環境保護活動(エコ活動)にどの程度取り組みたいか



●普段の生活の中で行っていききたいエコ活動(複数回答)



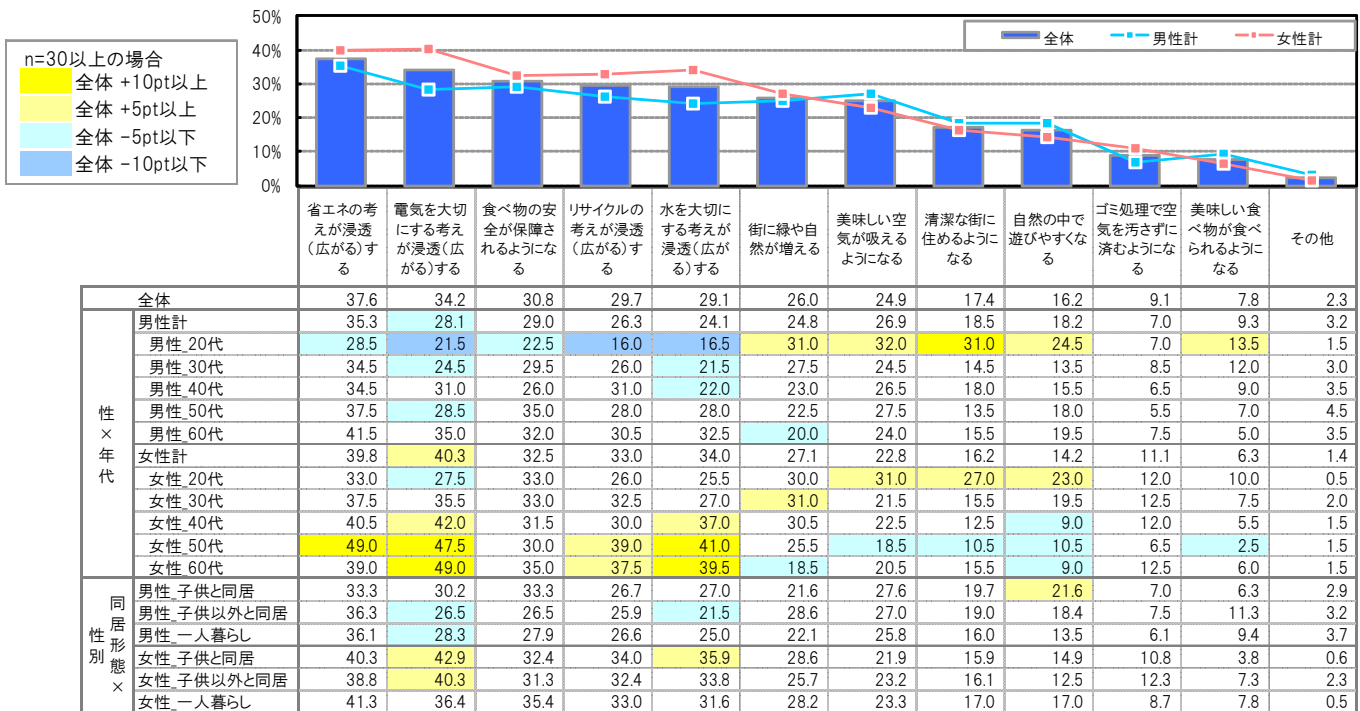
●今後行っていききたいエコ活動(複数回答)



●環境保護につながる商品で、2011 年に買ったもの（複数回答）

順位	買ったもの	回答人数
1位	「再生紙を用いたトイレトペーパー／ティッシュペーパー」	998名
2位	再生紙を用いた印刷用紙	580名
3位	LED照明	524名
4位	エコバッグ	482名
5位	再生紙を用いたノート／メモなどの文具	424名
6位	省エネタイプのテレビ・AV機器	354名
7位	電力を使わず涼がとれる小物類（扇子・スカーフなど）	284名
8位	省エネタイプのエアコン	210名
9位	湯たんぽ	208名
10位	蛍光灯	184名

●エコ活動に取り組んだ結果、どのように環境が変わるとよいと思うか



●10 年後、身近な自然環境がどのようにになっていると思うか

